



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

産学連携教育イノベーター育成プログラム 説明資料

© Osaka Metropolitan University All Rights Reserved.

大阪公立大学 国際基幹教育機構
産学連携教育イノベーター育成プログラム
アントレプレナーシップ教育力育成コース事務局
las-jitsumuka.ep@ml.omu.ac.jp
2024年4月作成

産学連携教育イノベーターとは

「産学連携教育イノベーター育成プログラム」は、産学が連携して人材と知の循環を促進しつつ、実践的かつ広く深い学びを追求し、学生も社会人も学び続けチャレンジし続ける社会の実現と、未来を拓く人材を各界へ輩出するため、その中心的役割を担う**実務家教員を育成すること**を目的としています。

産業界の知見と教育実践力を併せ持つ、ハイブリッド人材

実務経験を学習可能な知に転換し
プロの教育力
(教え方=学ばせ方)を獲得



学びと社会をつないで
学生の心に火を点け
社会人の学び直しにも貢献

現状の人材育成を変革し、
日本を元気にする人材 = **産学連携教育イノベーター**

アントレプレナーシップ教育力育成コース



「産学連携教育イノベーター育成プログラム」は、2019年度文部科学省採択「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」の取組「創造と変革を先導する産学循環型人材育成システム」*1の一環として4大学で開発・実施された、実務家教員の育成を目的とする履修証明プログラム*2です。

大阪公立大学ではアントレプレナーシップ教育力育成コース(以下、EPコース)を担当し、2021年度に開講、2023年度まで計65名が修了しました。2024年度からは4大学共同で実施した教育コンテンツを引き継ぎ、大阪公立大学においてEPコースを継続して開講します。EPコースでは、アントレプレナーシップ教育を担う実務家教員の育成を目指します。

年度	東北大学	熊本大学	立教大学	大阪公立大学
2020	LAコース開講	IDコース開講		
2021			LDコース開講	EPコース開講
2022				
2023				
2024				継続
...				継続

4大学で共同実施

*1 東北大学は産学連携リベラルアーツ教育力育成コース(LA)、熊本大学はインストラクショナルデザイン指導力育成コース(ID)、立教大学はリーダーシップ開発力育成コース(LD)を開講しました。

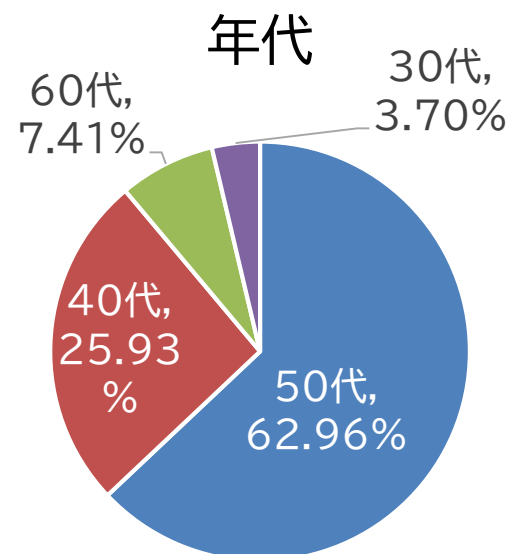
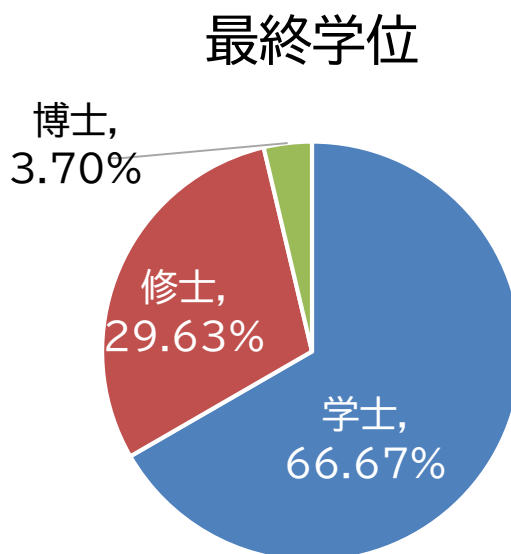
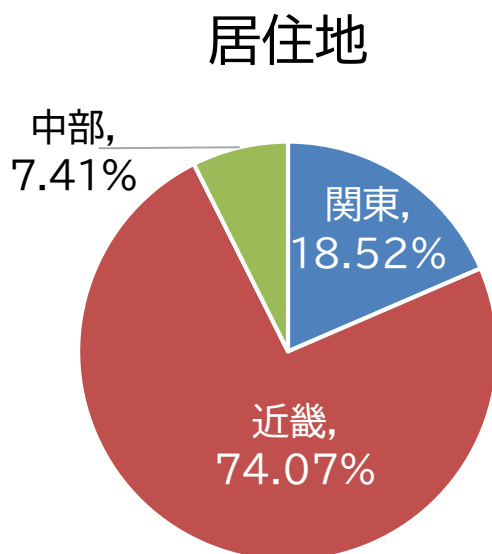
*2 履修証明プログラムとは、社会人等を対象に大学の教育・研究資源を活かし、一定の教育計画の下に編成された体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラムで、プログラム修了者には、学校教育法105条に基づき履修証明書(Certificate)が交付されます。

こんな方におすすめ

- 大学で教える事を学びたい
- 企業で培った実務経験を基に学生へ還元したい
- 自身の起業経験をこれから起業を目指す学生に役立てたい
- アントレプレナーシップと大学教育に関して知見を得たい
- 今までの経験と学びの「知の繋がり」
を作りたい
- 受講生や教員との「人との繋がり」を
得たい
- 研修会や、顧客への支援(指導等)方法を改善したい
- 高等教育(大学、専門学校等)の教育研究に関心がある



2023年度 EP受講生のデータ(27名)



修了者数

年度	修了者数
2021	22名
2022	16名
2023	27名
計	65名

修了者の活動実績

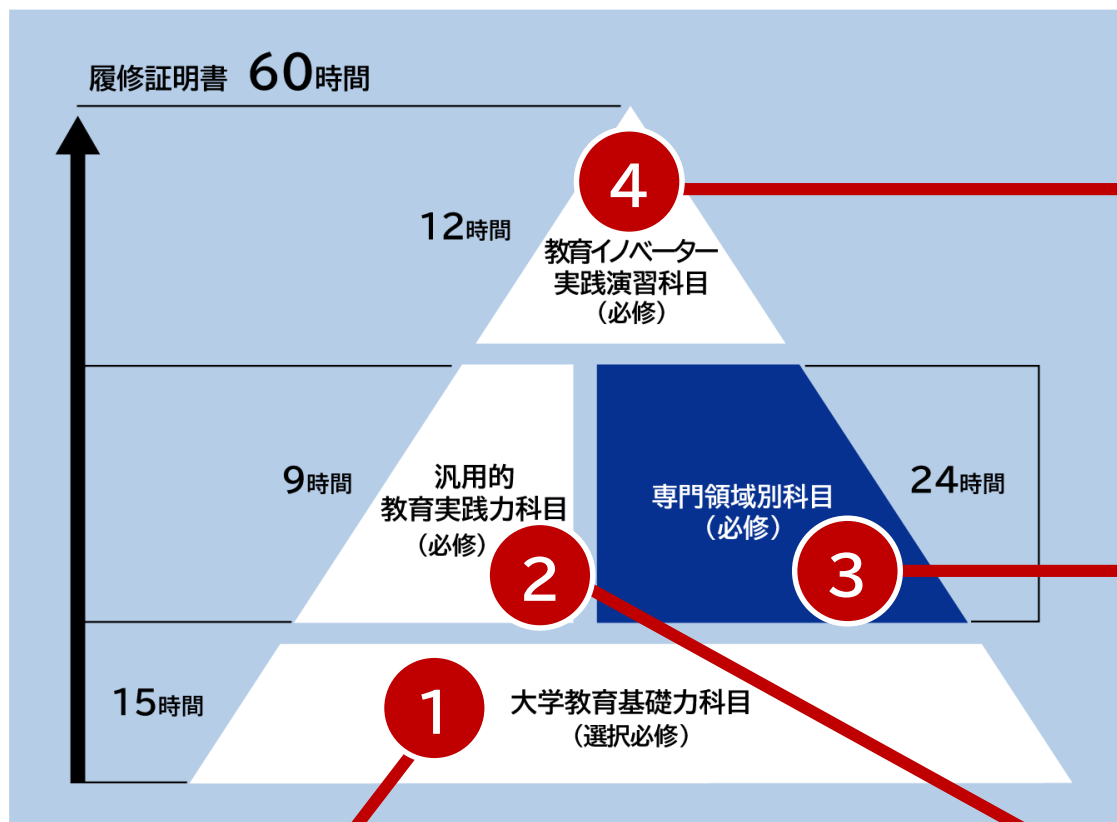
実務家教員として徳島文理大学 人間生活学部 教授、江戸川大学 経営社会学科 教授、関西国際大学 助教に就任。その他、企業等に勤務しながら大学等の非常勤講師・ゲスト講師、複数名が実務家教員として活動しています。

2022年度修了者には、2021年度に受講を開始した受講延長者1名を含む。

1. 大学教員として教育を担うための**基礎的知識・技能・態度**
2. 専門領域(汎用的な専門性)における**教育実践力**
3. 学びと社会を繋ぐ実践知・学術知往還及び学習成果のエビデンスに基づく教育変革を先導する「**教育イノベーター**」としての**変革力**

プログラムの科目構成と履修構造

インストラクショナルデザイン(ID)による研修設計



④これまでに修得した大学教育基礎力並びに汎用的及び専門的な教育実践力を総合的・応用的に活用して、





教育イノベーターとして授業や教育プログラム等を変革・改善して実践・運営できるようになることを目的とする。

③起業や企業での新規事業開始に当たり必要な基礎知識を学ぶとともに、それらを指導・教育するための手法や技能を習得することを目的とする。

①大学で授業を担当するのに必須となる基礎的な知識・技能を修得することを目的とする。

②大学で授業を担当するために必要となる実践的な知識・スキルの修得を目的とする。

受講スケジュール

科目	①大学教育基礎力科目	②汎用的教育実践力科目	③専門領域別科目	④教育イノベーター実践演習科目
受講形態	オンライン非同期	オンライン同期	オンライン非同期 対面またはオンライン同期	対面または オンライン同期
7/25	受講開始			
8月	学習項目1～4の履修、学習項目5～11から2つ以上を履修	[大学教育基礎力科目]学習項目2・3・4の履修完了が必要		
9月		学習項目1	大学教育基礎力科目の履修完了後に開始	
10月		学習項目2	学習項目1・2を履修完了	
11月			学習項目3 (Day1・Day2) 学習項目4 (Day1～Day4)	
12月				事前準備、事前指導、 成果発表会・講評
1月				
2月3月	修了認定、3月まで授業支援システム(Moodle)で学習可			

学習項目の詳細は、[科目概要](#)をご覧ください。オンライン学習では授業支援システムを使用します。

1 大学教育基礎力科目

オンライン非同期 受講生のペースで自宅等で学習する。

No	学習項目	時間	
	オリエンテーション		
1	大学教育制度論	2	必修
2	インストラクショナルデザイン	2	必修
3	授業設計論	2	必修
4	学習評価論	2	必修
5	学生・学習支援論	2	選択必修。 学習項目5～11 から2つ以上を履 修する。
6	カリキュラムマネジメント	2	
7	大学における倫理	2	
8	教育改善論	2	
9	オンライン授業実践論	2	
10	ICT等先端技術活用教育論	2	
11	実務家教員論	2	
	大学教育基礎力レポート	3	必修

授業方法

授業支援システムMoodle(ムードル)にアクセスして受講する。

- Web上の講義動画を視聴する
- 必読文献を読む。
- 小テストに回答する。
- 掲示板に疑問・考察内容等を投稿する。
- 他受講生の投稿を読み、コメントする。
- レポートを作成し提出する。

学習項目2・3・4は②汎用的教育実践力科目の受講開始までに履修完了する必要がある。

2 汎用的教育実践力科目

オンライン同期 ライブ配信型授業とも呼ばれ、決められた日時に受講する。

No	学習項目	時間
1	授業デザイン演習1	4.5
2	授業デザイン演習2	4.5

大学教育基礎力科目の「インストラクショナルデザイン」や「授業設計論」で学んだ基礎知識を前提に学習する。※いずれも事前学習30分含む。

授業デザイン演習1

クラスデザインシートの作成と模擬授業の実践を行うワークショップを通じて、**1回の授業を設計・実施する**際の基礎を学ぶ。

授業デザイン演習2

シラバスを作成するワークショップを通じて、**授業科目(半期15回)を設計する**際の基礎を学ぶ。

授業方法

受講生は事前学習(30分)と同期型オンライン・ワークショップ(4時間)でのワークを通して、成果物(授業計画やシラバス等)を完成させる。

学習目標

インストラクショナルデザインに基づいた授業設計と模擬授業、シラバス作成を通じて、大学教育基礎力科目で身に着けた知識・スキルを実際の教育現場で活用できるようにすることを目指す。

3 専門領域別科目

オンライン非同期

対面・オンライン同期のいずれかを選択(ハイブリッド)

No	学習項目	時間	学習形態
1	技術マネジメント基礎論	2	オンライン 非同期
2	アントレプレナーシップ基礎論	4	
3	技術マネジメントコンサルティング演習	6	対面・オン ライン同期
4	ベンチャービジネスコンサルティング演習	12	



教員が一方向的に話す講義ではなく、「グループで議論しながら学ぶ教育方法」を学習する機会。

授業方法

- 1・2: Web上の動画コンテンツを視聴・閲覧し、レポートを作成する。
- 3・4: 演習に参加し実践課題に取り組みながらコーチングスキルを講師から学ぶと共に課題や模擬指導に取り組む。

学習目標

- 技術マネジメントの基本的な考え方を理解し、説明できる。
- 事例に基づく技術マネジメントの指導力を身に付け、実践できる。
- アントレプレナーが理解しておくべき基本的知識を理解し、説明できる。
- アントレプレナーの育成体系を理解し、それを実践できる。

専門領域別科目:補足

専門領域別科目の演習の一部は、大学院生が履修する正課授業「イノベーション創出型研究者養成(TEC)」と合同で実施。



受講生は教員が学生へ指導する様子を観察し、グループワークへの参加、他の受講生が学生へ模擬指導する様子の観察等を通して、教えることを学ぶ。

TEC2B

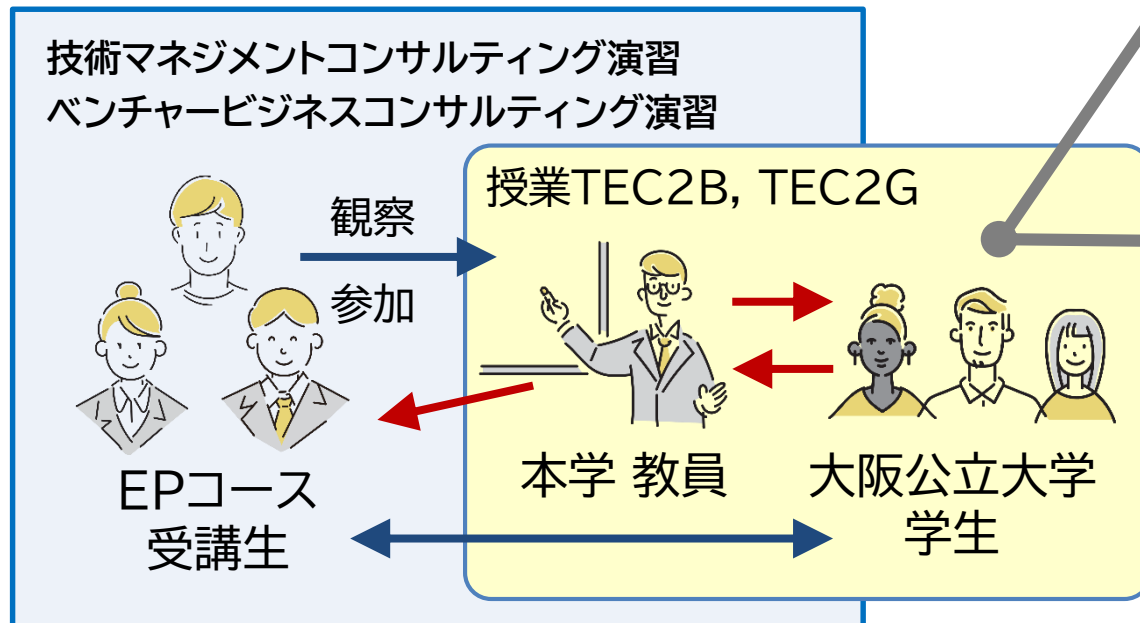
MOTコンサル演習

高度な科学技術研究成果の事業化や産業化の考え方・プロセスについて、事例に基づき実践的な演習として取り組む。

TEC2G

ベンチャービジネス演習

事業構想とイノベーション、ビジネスプラン、競合分析とマーケティング、財務諸表、ベンチャーキャピタルなどについての演習を通じて、起業や企業における新規事業開始にあたり必要な知識を学ぶ。



4 教育イノベーター実践演習科目

オンライン非同期

オンライン同期

対面・オンライン同期(ハイブリッド)

学習項目1: キャップストーン・プロジェクト

授業方法

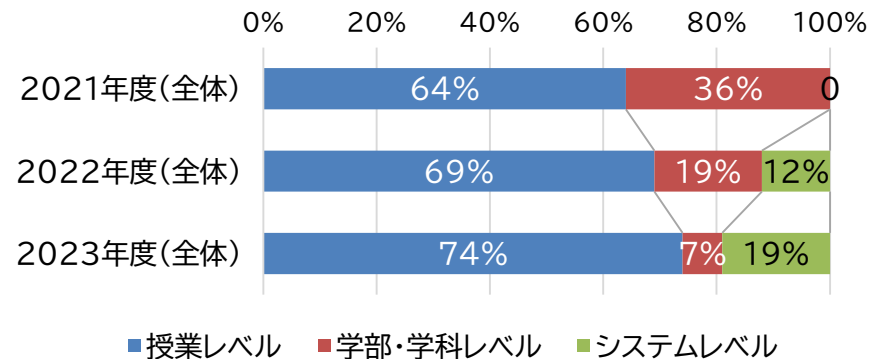
受講生が自ら構想した新規取組案について、1～3に取り組む。

No	内容	時間	学習形態
1	事前準備	7	オンライン非同期
2	事前指導	1	オンライン同期
3	成果発表会	4	対面・オンライン同期

学習目標

実践知と学術知の往還を意識しながら自律的に構想した新規の取組案(授業、カリキュラム、プロジェクトの案等)の発表・討論を行う。

成果発表会での提案レベル(EPコース)



修了生による実践演習(AIBET EP-Alumni)

アルムナイ



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University



アントレプレナーシップ教育力育成コースの同窓会[AIBET EP-Alumni]による活動の一環として、修了生や受講生が講師を務め、学生を対象に実践的な授業を実施します(正課外*1)。実務家自らの教育力のスキルアップを図ると共に、学生へ新たな知見を提供することを目的とします。



2023年度から実践演習を開始し、計4回実施しました。2024年度も講師希望者を募り、本学教員による企画内容の審査・助言を経て、90分間の模擬授業を実践します。修了生との交流の場として、ご活用ください。

*1 正課外とは、大学から学生へ単位が付与されない課外活動の事です。

- 開催予定 2024年5月、6月、7月、10月、11月、12月、2025年1月、2月の木曜日、計8回
- 開催時間 18:00～20:00(演習90分、質疑応答30分)

受講生アンケート抜粋(2023年度生)



- 昔と比べ教育に対する考え方が高度化であり、また体系立てて考えられてることが大いにわかった。
- より深く学習者の視点で考えることの重要性を理解できたと感じています。
- 専門性やバックグラウンドの異なる社会人の方々と主に学ぶことができとても刺激的であった。実務家教員を目指すモチベーションを高めることができた。
- 自ら進んで受講される方ばかりなので、学びに対する意識が高く、対面講義などで交流できたことは貴重な機会となりました。
- 社会人は仕事などをしながら参加するため、学習時間の捻出が課題だと感じました。
- 社会人が学生の状況を「観察すること」は非常に効果的で、ここで得たことは、今後も実践に際して取り入れたいと思っています。
- 現役学生と一緒に授業に参加するスタイルであることから、多くの学びや刺激が得られた。
- アントレプレナーの領域に関する知識や世界を本プロジェクトで学びました。全ての学生はもちろん、全ての社会人が知っておくべき知識と思います。

受講生アンケートは「2023年度 事業報告書 資料編」pp.89-128から抜粋。

<https://jitsumuka.jp/innovator/top/publication/>

募集案内

応募資格	下記、①②の両方を満たす方。 ①大学を卒業した方又はこれと同等以上の学力があると認められた方 ②原則として専門的技術的又は管理的な職務において5年以上の実務経験を有する方
費用	入学金:なし、受講料:300,000円
受講開始日	2024年7月25日(木)
募集締切	2024年4月21日(日)
応募方法	応募書類(様式)を下記Webサイトからダウンロードして必要事項を記入してください。 https://www.omu.ac.jp/las/jitsumuka/program/entry2024/index.html <u>Web上</u> で必要事項を入力のうち、応募書類をアップロードしてください。
応募書類	職歴書、志望理由書、承諾書(企業から派遣される方のみ)
募集要項一式	https://www.omu.ac.jp/las/jitsumuka/assets/2024EP_bosyuyoko_all.pdf 記載事項 ・ 募集要項:応募方法の概要、受講開始までのスケジュール、修了要件 ・ 科目概要:4科目の目的、学習目標、授業方法、成績評価方法 ・ プログラム日程表:実施日、場所、実施方法等
問合せ先	大阪公立大学 国際基幹教育機構 高度人材育成推進センター内 産学連携教育イノベーター育成プログラム アントレプレナーシップ教育力育成コース事務局 las-jitsumuka.ep@ml.omu.ac.jp